

伝統芸能

夏号

日本の祭り

石川県 七尾市
「青柏祭」



広島県 北広島町
「壬生の花田植」



出かけよう!! 「静」と「動」と「魂」の祭典に!

福井県 坂井市
「三国祭」



秋田県 北秋田市
「綴子太鼓祭り」



日本には心に染みる「静」の祭りと熱気あふれる「動」の祭りがある。
伝統芸能には先史の良き時代から大切に継承された「魂」がある。

この冊子の内容は右記のホームページからご覧になれます。地域伝統芸能活用センター <http://www.dentogeino.or.jp>

この冊子は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。





豊かな街づくりに 役立つ宝くじ。

宝くじの収益金は、図書館や
動物園、学校や公園の整備を
はじめ、少子高齢化対策や
災害に強い街づくりまで、
いろいろなかたちで、みなさまの
暮らしに役立てられています。



財団法人 **日本宝くじ協会**

財団法人 日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や公益法人等が行う社会に貢献する
事業への助成を行っています。 **日本宝くじ協会ホームページ** <http://jla-takarakuji.or.jp/>



日本の祭りには胸が高鳴る「興奮」と
ほのぼのとした「安らぎ」があり、
伝統芸能には太古より受け継がれた
栄華の「命」がある。



実施日 毎年7月22日～24日
平成26年は7月22日(火)～24日(木)



愛媛県 宇和島市 うわじま牛鬼まつり

実施日 毎年6月第1日曜日
平成26年は6月1日(日)



広島県 北広島町 壬生の花田植

4 6月／壬生の花田植 P4

9 7月／鷺舞 P5

7月／福岡市「博多祇園山笠」

10 7月／小城祇園夏まつり P6

8 7月／うわじま牛鬼まつり P5

実施日 毎年5月3日～5日
平成26年は5月3日(土・祝)～5日(月・祝)



石川県 七尾市 青柏祭

実施日 毎年6月第2土曜日
平成26年は6月14日(土)



岩手県 滝沢市 チャグチャグ馬コ

2 5月／青柏祭 P3

地域伝統芸能賞受賞祭事を中心に選出しています

実施日 毎年7月10日以降の金曜日・土曜日・日曜日
平成26年は7月11日(金)～13日(日)予定



千葉県 香取市 佐原の大祭

6 7月／綴子大太鼓祭り P4

6月／滝沢市「チャグチャグ馬コ」

5 6月／月潟まつり P4

3 5月／三国祭 P3

1 5月／大鹿歌舞伎 P3

7月／香取市「佐原の大祭」



5月／京都市「葵祭」
7月／京都市「祇園祭」

7 7月／那智の火祭 P5

目次

- 日本各地の祭り・伝統芸能分布図 P1・P2
- ① 大鹿歌舞伎 P3
- ② 青柏祭 P3
- ③ 三国祭 P3
- ④ 壬生の花田植 P4
- ⑤ 月潟まつり P4
- ⑥ 綴子大太鼓祭り P4
- ⑦ 那智の火祭 P5
- ⑧ うわじま牛鬼まつり P5
- ⑨ 鷺舞 P5
- ⑩ 小城祇園夏まつり P6
- 地域伝統芸能活用センターよりご案内 P6

長野県
大鹿村

おおしかかぶき
大鹿歌舞伎

長野県
大鹿村

実施日
毎年5月3日と10月第3日曜日
平成26年は5月3日(土・祝)と10月19日(日)

大自然に抱かれた舞台古来よりの観劇スタイル

大鹿歌舞伎は、300余年前から各集落の神社の舞台で演じられ、今日まで伝承されてきました。江戸から大正期の歌舞伎上演は禁令とされ、奉納歌舞伎として弾圧をかいくりながら残されてきた大鹿村の地芝居は、隔絶された立地条件とめまぐるしい社会の変化の中で生きてきた、村の人々の心のよりどころであり、祈りにも似たものであったといえます。歌舞伎という芸能を受け継ぎ、地芝居を支えていくことは、大鹿村の人々の熱意と努力がつくりあげる、未来に向けての新しい伝統の創造でもあります。

大鹿歌舞伎は、地芝居を通していきいきとした地域の文化の発信と交流の場でありたいと考えております。

大鹿村教育委員会
<http://www.vill.ooshika.nagano.jp/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



アクセス

春の定期公演 電車：JR飯田線「伊那大島駅」下車、バス約40分
 車：中央自動車道「松川IC」から19km約40分

秋の定期公演 電車：JR飯田線「伊那大島駅」下車、バス約60分
 車：中央自動車道「松川IC」から19km約40分

石川県
七尾市

せいはいさい
青柏祭

石川県
七尾市

実施日
毎年5月3日～5日
平成26年は5月3日(土・祝)～5日(月・祝)

青柏祭の曳山行事「でか山」

若葉萌える5月に行われる大地主神社(山王神社)の例大祭で、能登地区最大の祭礼です。平安時代の天元4年(981)に時の国主源順が能登の国祭りとして定めたのが、始まりと言われます。能登畠山氏3代城主義統は、京文化の移入に熱心で、都の祇園山鉦にならって、文明5年(1473年)国祭りの青柏祭に曳山(山車)を奉納したのが、でか山の始まりと伝えられています。古くからの伝統を継承する、青柏祭の曳山行事は、昭和58年(1983年)には、国指定重要無形民俗文化財に指定されました。

曳山の運行が始まる前日、5月2日の夜には、本番で曳山の舞台に飾り付けられる歌舞伎人形が、市内の民家などに展示される「人形見」が行われ、祭りムードを盛り上げます。5月3日の夜から5日にかけて山車の運行が行われ、高さ12m、重さ20tの日本一大きな山車3台が町なかを曳き廻る様は迫力満点です。狭い街角で山車を方向転換させる「辻廻し」は見逃せない見所のひとつです。訪れる人々も自由に山車を曳くことができる参加型のお祭りです。



アクセス

電車：JR七尾線「七尾駅」下車すぐ
 車：のと里山道「上棚矢駄IC」から約40分
 能越自動車道「七尾城山IC」から約10分

七尾市観光協会
<http://www.nanaoh.net/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。
 お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

福井県
坂井市

みくにまつり
三国祭

福井県
坂井市

実施日
毎年5月19日～21日
平成26年は5月19日(月)～21日(水) 山車巡行は20日(火)

北陸三大祭りの一つ

北陸三大祭りの一つ「三国祭」は、例年5月19日から21日にかけて行われる三國神社例大祭の行事で、多くの参拝者で街中が賑わいます。神輿二基・神宝持の行列・武者行列に名物の武者人形6基が港町の情緒を掻き立て、狭い街並みの両脇に立ち並ぶ露天商、人々の波で街中が祭り一色になります。20日の正午に三國神社前に山車6基が奉納され、午後1時に山車、神輿、行列が神社前から街中に繰り出します。立ち並ぶ露天商の屋根をハネあげ、ハネあげ、笛と三味線、太鼓の囃子で山車が進みます。面かじ、取りかじの大きな声の中260年の歴史を刻んできた神輿と山車と武者行列の巡行で、この日は夜9時ころまで巡行は続きます。三国祭の山車の特徴は三輪であることが挙げられますが、それは、道幅が狭いため山車を曳くためには、鋭角に曲がる必要があることから三輪になっています。

またこの三国祭は、福井県の無形民俗文化財に指定されています。



アクセス

電車：JR北陸線「芦原温泉駅」からバス三国行き三国下車
 JR北陸線「福井駅」からえちぜん鉄道三国行き三国下車
 車：北陸自動車道「金津IC」から約20分
 北陸自動車道「丸岡IC」から約30分

三国祭保存振興会
<http://www.mikuniminato.jp/matsuri/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。
 お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

広島県
北広島町

みぶ はな だ う え

壬生の花田植

毎年6月第1日曜日

平成26年は6月1日(日)



稲作の平穏と豊穰を願う伝統行事

「壬生の花田植」は、約600年前の室町時代とも云われる「はやし田」の習俗を継承する民俗芸能です。牛による代掻きから田植えが終わるまでの作業を郷土芸能として伝承しており、笛や太鼓ではやし、田の神様とされる三拝さんの音頭で、緋の着物に赤い袴や腰巻で着飾った早乙女が田植え唄を歌いながら苗を植えます。その優雅な田園絵巻は、総勢百人にも及び、西日本に残る田植え催事としては最大の規模を誇り、「川東田楽団」と「壬生田楽団」がその伝統を伝えています。1976年(昭和51年)には、国の重要無形民俗文化財に指定され、2011年(平成23年)にユネスコの無形文化遺産に登録されました。道行きは壬生商店街から会場の田んぼに至る街頭で繰り広げられ、地元壬生小学校の児童による「こども田楽」、みごとに飾り付けをされた十数頭の飾り牛、早乙女が奏楽を伴って演ずる街頭での田楽など続き、小さな商店街はこれらの行列をとりまく観客でいっぱいになります。会場の田んぼでは、飾り牛の到着を待って代掻きが始まり、田楽団が打ち鳴らす笛や太鼓にあわせて一大田園絵巻が繰り広げられます。



アクセス

バス：広島バスセンターからバスで約45分千代田インターバス停下車
車：中国自動車道「千代田IC」を出て右方向に約600メートル

北広島町観光協会

http://www.kitahiro.jp/special/mibu_hanataue/mibu_hanataue.html

※実施日・場所等スケジュールが変更になる場合があります。
お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

新潟県
新潟市

つき が た

月潟まつり

毎年6月第4日曜日と前日土曜日

平成26年は6月21日(土)・22日(日)



様々な伝統芸能が披露される伝統芸能フェスティバル

昔より角兵衛獅子の一大が技芸上達・道中安全を祈願し、守護尊とした角兵衛地蔵尊があります。全国巡業中の角兵衛獅子の一大全てが帰り、競演奉納して尊霊を慰めるようになりました。現在では白山神社境内で演技奉納されています。角兵衛獅子の由来は、二つの言い伝えが残っており、一つは、二人の息子が父角兵衛の仇を討つため、諸国を巡り歩いたというもの。もう一つは、水害による凶作続きで、農民角兵衛が獅子舞を創案し、生活救済のため、諸国を巡業させたとも伝えられています。江戸時代には、春の風物詩として隆盛を極めましたが、明治時代に入ると、時代の流れとともに徐々に衰退していききました。昭和11年、角兵衛獅子保存会の結成で復活を遂げ、昭和47年には天皇・皇后両陛下の御前でも演技を行い、立派な伝統芸能として認知されるようになり、平成25年4月15日新潟市無形民俗文化財に指定されました。



アクセス

電車：上越新幹線「燕・三条駅」から車で約25分
バス：新潟駅前(万代口)発月潟行き約1時間20分
車：北陸自動車道「巻・潟東IC」から約15分

新潟市南区観光協会

<http://www.shironekankou.jp/>

※実施日・場所等スケジュールが変更になる場合があります。
お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

秋田県
北秋田市

つづれ こ おお だい こ

綴子大太鼓祭り

毎年7月14・15日

平成26年は7月14日(月)・15日(火)



虫追いや雨乞い、五穀豊穰を祈願

「綴子大太鼓祭り」は北秋田市綴子地区の八幡宮綴子神社例大祭のことで、上町と下町の二つの集落が徳川、豊臣方に別れ一年交代で綴子神社に大太鼓を奉納します。四里四方に鳴り響くという大太鼓の音と共に、氏子の老若男女が神社の杜を目指して練り歩く出陣行列や境内で獅子踊りや奴舞いが披露されます。700年以上の歴史があり、農業用水の不足に悩んでいた当時の村人達の、雨乞いと豊作祈願の神事としてお祭りが始まったとされています。道の駅たかのすにある国内唯一の大太鼓の博物館「大太鼓の館」には、直径が2mを超えるものだけでも6基、最も大きいものは直径3.80m、胴の長さが4.52m、重さが3.5tもある大太鼓が展示されています。二番目のものは平成元年に、「牛の一枚皮を使った世界一の和太鼓」としてギネスブックに認定されています。

秋田県北秋田市観光情報 あきた北ナビ

<http://www.kitaakita-kankou.jp/details/021.html>

※実施日・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



アクセス

電車：JR東日本奥羽本線「鷹ノ巣駅」から車で約15分
飛行機：「大館能代空港」から車で約20分
車：東北自動車道「十和田IC」から約1時間

和歌山県
那智勝浦町

なち
那智の火祭

那智勝浦町
和歌山県

実施日
毎年7月14日
平成26年は7月14日(月)



日本三大火祭りの一つ

例大祭は、毎年、7月14日に行なわれ、一般に「那智火祭」として知られております。神代の昔から那智の大滝を神として尊びあがめ、神武天皇がここに大己貴命(おおなむちのみこと・大国主命)をおまつりして以来、伊弉冉尊(いさなみのみこと)をはじめ熊野大神十二所がまつられていました。仁徳天皇5年に、那智山中腹に社殿が造営されると共に、その神々を新社殿に神輿でお移した神事から始まったといわれています。十二体の神輿が本社から飛瀧神社へ進まれますと、重さが50キロ以上もある十二本の燃えさかる大松明でその神輿を清めお迎える神事が、参道いっぱいくりひろげられるのですが、大滝を背景に大松明が乱舞するさまは、まさに「那智の火祭」として全国に名をとどろかせているゆえんを思うにふさわしい迫力あるお祭です。

アクセス

電車：新大阪駅または名古屋駅よりJR紀勢本線「紀伊勝浦駅」下車後、路線バスに乗り換え終点那智山下車
車：阪和・海南湯浅・湯浅御坊道路・南紀田辺ICからR42を南下、串本を経て那智勝浦町へ
または、東名阪・伊勢自動車道・R42号を南下、那智勝浦町へ

※実施日・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

熊野那智大社
<http://www.kumanonachitaisha.or.jp/>

愛媛県
宇和島市

うし おに
うわじま牛鬼まつり

宇和島市

実施日
毎年7月22日～24日
平成26年は7月22日(火)～24日(木)

蘇れ!魂の中の鬼たちよ!

「和霊大祭・うわじま牛鬼まつり」は毎年7月22日から24日の3日間開催されます。22日は宇崎竜童作曲の「GAIYA ON THE ROAD」というビートのきいたロック調の曲に合わせて様々な年齢層のダンスチームが、趣向を凝らしたコスチュームに身を包んで踊る「ガイヤカーニバル」を皮切りに、23日は「子ども牛鬼パレード」、水中花火や尺玉で夜空を焦がす「海上花火大会」、そして各団体による「宇和島おどり」が行われます。最終日の24日は約20体もの勇壮な牛鬼が巨体を揺らしながら練り歩く「親牛鬼パレード」に、祭りのフィナーレを飾るのが「走り込み」です。様々な山車に先導された神輿三体が、篝火のたかれた須賀川に入ってきて、川の中央に立てられた10数メートルもある御神竹の先に結ばれた御幣の争奪戦が始まります。この時祭りは最高潮を迎えます。

アクセス

電車：JR予讃線「宇和島駅」から徒歩約15分
車：松山自動車道「宇和島朝日IC」からすぐ

※実施日・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



宇和島市観光協会
<http://www.uwajima.org/>
牛鬼まつりホームページ
<http://ushioni.gaina.ne.jp/>

島根県
津和野町

さぎ まい
鷺舞

島根県
津和野町

実施日
毎年7月20・27日
平成26年は7月20日(日)・27日(日)

城下町に響く鐘の音と、優雅な白鷺の舞

鷺舞は津和野の弥栄神社に伝わる古典芸能神事です。毎年祇園祭りの7月20日(ご神幸の日)は町内11ヶ所、27日(ご還幸の日)は町内9ヶ所の昔から定められた場所で舞います。鷺舞は天文11年(1542年)に時の津和野城主吉見正頼(11代)が山口の祇園会から移し入れた芸能神事です。本元は京都の八坂神社祇園会に伝えられたもので、京都から山口へ、山口から津和野へと伝えられました。坂崎出羽守の時代に一時中絶しましたが、亀井氏の時代になって茲政(2代藩主)は、寛永20年(1643年)坂田兵左衛門、柴屋彦兩人を京都に派して京都祇園会の鷺舞を直接習得させ、今日まで受継がれています。

津和野町観光協会
<http://www.tsuwano.ne.jp/kanko/modules/pico/index.php/content0060.html>

※実施日・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



アクセス

電車：JR山口線「津和野駅」から殿町通りまで徒歩10分
車：中国自動車道「六日市IC」から約1時間
中国自動車道「小郡IC」から約1時間20分

佐賀県
小城市

おきぎおん
小城祇園夏まつり

佐賀県
小城市

実施日
毎年7月下旬の土曜日・日曜日
平成26年は7月26日(土)～27日(日)

約700年の歴史を持つ須賀神社の夏まつり。

祇園夏まつりの起源は、鎌倉時代末期に関東からきて、小城の町を造った千葉胤貞(ちばたねさだ)が、軍事訓練を兼ねて山曳き神事を行ったことによります。五穀豊穡、疫病退散、地域の安全を祈願する祭りとして、千葉氏滅亡後も、小城藩主となった鍋島家によって受け継がれ、今日に伝わっています。上町、中町、下町それぞれ3つの山が、小城市小城町の下町交差点から須賀神社を目指します。男たちの力強い掛け声、子どもたちが打つ締太鼓(しめだいこ)のリズミカルな音色や元気いっばいのかけ声が響き渡る風景は、まさに城下町小城の夏を彩る風物詩です。

小城市役所ホームページ
<http://www.city.ogi.lg.jp/>



アクセス

電車：JR唐津線「小城駅」から車で約5分

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

地域伝統芸能活用センターよりお知らせ

「第11回まつりイン台湾2013」



平成25年12月7日(土)～8日(日)

千葉県銚子市「銚子はね太鼓保存会」と山形県山形市花笠踊り「民俗文化サークル四方山会」を派遣しました。

当センターが派遣した銚子市「銚子はね太鼓保存会」、山形市花笠踊り「民俗文化サークル四方山会」の力強い太鼓や舞を披露し台湾の「雲之彩民族舞蹈団」、他各出演者による絶妙な技の競演が行われ、まさに「舞之祭」にふさわしい日台交流ステージが繰り広げられました。



出演・出展者数：38団体 356名(内 日本214名 台湾142名) 来場者数：101,038名(2日間延人数) ※漢神巨蛋計・中華民国交通部觀光局公認

「マレーシア旅行博覧会(MATTA Fair Kuala Lumpur2014)」

マレーシア
国内最大級の旅行イベント

会期：3月14日～3月16日

当センターが
青森「津軽三味線」の
グループを派遣します。



平成26年の地域伝統芸能全国大会が成田市で開催されます

会期：平成26年11月8日(土)～9日(日)

会場：成田国際文化会館 及び 成田山新勝寺参道エリア